

## 「計画」

大津市立石山小学校

## 令和8年度 我が校の学び力向上策

## 【県目標】第Ⅲ期学び力向上滋賀プラン

夢と生きる力を育むために、子どもたちの主体的な活動を通して、学び力を高める。

## 【令和8年度取組の重点】 子ども一人ひとりの「ワクワク」する学びへ

- 発達の段階を踏まえた言語活動の充実
- 1人1台端末等の効果的な活用
- 自分に合った学び方を身に付ける指導の推進

## 【市町の目標】

- 第4期大津市教育振興基本計画

「一人ひとりが輝き、ともに未来を創る大津の教育」を実践する。

## 【学校の目標】

- みんな笑顔で「心」が育つ石山小学校

## 【現状と課題】

## ○視点1

(1) すべての授業を基本の流れで行う「石山スタンダード」を活用し、対話を大切に学習に取り組んできた結果、学習に主体的に取り組む児童は増えてきた。しかし、自分の考えを再構築する力に課題が見られる。

(2) 児童質問紙の結果を見るとICTを活用した学習については、肯定的に捉えている児童が多いが、使用頻度については、全国平均を下回っている。

○視点2 人との関わりを求める児童は多いが、自分の気持ちを発信することや相手の気持ちを慮ることに課題を感じる。

○視点3 地域と各校園に「Iism（石山の子どもは石山の地域で育てる）」が浸透し、地域の協力も得やすく、各担当同士の校種間連携が図れている。「学び力」の向上をめざし、地域と学校園がめざす子ども像を明確に持ち、連携・接続ができるように、Iismの強化を図る必要がある。

## 取組事項および評価指標

※評価指標には、目標値を記入してください。

(例) 県学びのアンケート（児童生徒）「わからないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、自分から取り組んでいたと思いますか」 **肯定的な回答80%以上 ← 目標値**

## 【視点1】子どもたちが主体の授業づくり

| 取組事項                                                                                                                     | 評価指標                                           |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------|
| ①「石山スタンダード」として学習の流れを提示し、課題についてペア・グループで対話を通して思考・挑戦・確認する時間を確保をする。どの先生もどの時間も基本は同じ流れで学習できるように取り組むことで、子どもたちの「できた」「わかった」につなげる。 | ①「学習していることがよくわかります。」【児童アンケート】肯定的回答が85%以上       |
| ②個別最適な学びや協働的な学びの場での積極的なICT端末の活用を図る。                                                                                      | ②「ICTを活用し、分かりやすい授業を行っている。」【保護者アンケート】肯定的回答85%以上 |

## 【視点2】学びを支え合う集団づくり

| 取組事項                                                             | 評価指標                                                                          |
|------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|
| ①共感的な人間関係の育成と居心地のよい安心できる集団づくりをめざして、子どもたちが自主的・実践的に取り組む特別活動を充実させる。 | ①「学校へ行くのが楽しいと言っている。」【保護者アンケート】肯定的回答が85%以上                                     |
|                                                                  | ①「あなたの学級では、学級生活をよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている。」【児童生徒質問紙】肯定的回答が85%以上 |

## 【視点3】協働して取り組む学校づくり

| 取組事項                                                                                                                   | 評価指標                                              |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------|
| ①石山中学校区の「学び力」向上の取組の共通理解・共通実践を通して、Iismの強化を図る。地域教材である「石山寺」を生かした幼保小中の連続した教育課程と昨年度作成した架け橋カリキュラムについて、子どもの姿を通じた交流を行いながら推進する。 | ①「校種間の授業公開や合同研修会を行っている。」【教職員アンケート】平均値3.0以上        |
|                                                                                                                        | ①保護者・地域との交流や情報発信、参観、懇談会、研修会の実施、地域人材の活用【学校評価】2.5以上 |

◇「学び力向上策」の実効性を高めるために、職員全体で共通理解・共通実践し、検証・改善していく時期や手立て等

・5月の部会において「学び力向上策」の取組について協議を行う。校内研究会の全体会議において、全職員へ共有し、共通実践ができるように進める。

・前期（9月まで）と後期（3月まで）に「学びづくり部会」を中心に、学年ごとに取り組み検証を行い、改善や継続していくことの確認を行う。そこで共通理解されたことを職員会議等に提案し、教職員全体で共通理解を図っていく。